

家庭や地域・中学校区との連携部会の取組

1 令和4年度研究主題

夢をもち、たくましく生きる円山っ子
～言語力の育成を通して～

2 研究における部会の役割

- ① 各教科や総合、学校行事において、家庭や地域と関わる活動を行うことで、家庭や地域に目を向けそのよさに気付くことができるようにする。
- ② 積極的に地域に関わろうとすることで、地域を大切にしようとする心を育てる。
- ③ 学年交流や縦割り活動などの交流の場を生かして、異学年とのつながりを広げ、そこで得た学びを自身の成長につなげられるようにする。

3 各学年の具体的な取り組み

= 1年生 =

<活動計画>

地域とつながる活動

- ① みんなのこうえんであそぼう（生活科）・・・6月実施
夏の公園に出かけ、遊具で遊んだり草花を観察したりする。公園で遊ぶルールを確認し、地域の公園を大切に扱うことができるようにする。
- ② こうえんであきをさがそう（生活科）・・・10月実施
夏と比べて草花の様子が変わっていることに気付かせる。秋見付けを楽しむ。
- ③ ぼくのしごと（道徳科）・・・11月実施
家族のために働いた喜びを思い起こす。もっと自分ができることはないかを考え実行する。
- ④ じぶんでできることをしよう（生活科）・・・12月実施
道徳科の授業から発展させ、自分でできることをもう一度考えたり、振り返ったりする。家族の仕事を調べ、身の回りのことをたくさんしてもらっていることに気付かせ、感謝の気持ちをもつことができるようにする。冬休みに行く仕事を決め実行する。
- ⑤ くわしくかこう「しらせたいな 見せたいな」（国語科）・・・10月実施
学校にいる生き物や見つけたものをお家の人に知らせるための作文を書き、コメントをもらう。

異学年交流

- ① あきのおもちゃをつくろう・いっしょにあそぼう（生活科）・・・11月実施
校外学習で見つけた秋のものを使っておもちゃを作り、2年生を招待して一緒に遊ぶ。
- ② あたらしい1年生をしょうたいしよう（生活科）・・・2月実施
「わくわく交流デー」で1年生を迎えるための企画や準備を行う。

= 2 年生 =

<活動計画>

地域とつながる活動

- ① 町たんけん（生活科）・・・5月～6月
友達と身近な地域のことを話す中で、まだ知らない場所がいろいろあることに気付く。また、「町たんけん」に出かけて、確かめることで、地域には自分たちの生活と関わっている場所がたくさんあることを学ぶ。
- ② 校外学習（福井市自然史博物館・足羽山公園遊園地）・・・10月
福井市の公共施設の利用を通して、公共物のよさを感じ、身の回りにはみんなで使う施設があり、正しく利用することや、それらを支えている人々がいることなどに気付く。

異学年交流

- ① 1年生に「アサガオの種」と「まつぼっくりけん玉」をプレゼントし、掃除場所を案内したり、一緒に遊んだりして仲よく活動する。
- ② 1年生を「おもちゃランド」に招待し、遊び方を説明したり教えたりして楽しく遊ぶ。

= 3 年生 =

<活動計画>

地域とつながる活動

- ① 食べ物（おやつ）調べ（総合）・・・5月実施
家で1週間のおやつを調べたり、おやつのパッケージを見てカロリーや成分表を確かめたりする活動を通して、自分が普段食べているものに関心をもてるようにする。
- ② かまぼこ工場・県立歴史博物館見学（社会）・・・10月実施
地域にある工場を見学し、かまぼこの製造過程を知ったりかまぼこ作りを体験したりして、地域の産業や製品・働く人に興味をもてるようにする。学芸員から昔の様子についての話を聞き、福井の発展の様子を知る学習につなげる。
- ③ スーパーマーケットの学習（社会）・・・10月実施
店長さんに話を聞き、店内の様子や気を付けていることなどを質問し、地域の店や働く人の様子を学ぶ。
- ④ 昔の話を聞く会（社会）・・・1月実施
地区の方から学校や地区の歴史、昔のくらしや道具について聞き、円山地区に愛着がもてるようにする。

異学年交流

- ① 2年生に書写の学習の様子を伝えたり作品を見せたりする。（1月）
- ② 2年生に総合でまとめたことを発表する。（2月）

= 4 年生 =

<活動計画>

地域とつながる活動

- ① 高齢者疑似体験（総合）・・・6月実施
地域のボランティアの協力を得て、高齢者の身体の様子・状態を知り、高齢者に対しての介助方法や声のかけ方などを学び、自分たちにできることは何かを考える。
- ② 認知症サポーター養成講座（総合）・・・6月実施
認知症とはどのような病気なのかを理解するため、老人ホームの職員に話を聞き、どのようなことを困っているのかや自分たちがどのような支援ができるかを学ぶ。
- ③ 心のバリアフリー講習会（総合）・・・12月実施
地域の盲学校の先生を講師に招き、障害のある人の生活や困っていることを聞き、自分たちにできる手立ては何かや共存するためにはどのような社会を作るとよいかを考える。
- ④ 福井の伝統工芸品や文化財調べ（国語・社会）・・・10月実施
福井の伝統工芸である越前和紙や文化財である丸岡城を知ること、福井のよさを感じ、それらを伝える。

異学年交流

- ① 3年生に総合でまとめたことを発表する。（2月）
- ② 3年生にクラブ紹介をする（3月）

=5年生=

<活動計画>

地域とつながる活動

- ① 田植え・稲刈り体験（社会）・・・6月10月実施
地域のボランティア・NPO法人の協力を得て、米作りについて学ぶ。
- ② 朝倉たんさく隊（総合）・・・6月実施
朝倉氏遺跡周辺を探索し、戦国時代の街並みや一乗地区の歴史について学ぶ。
- ③ 大野市街地班別散策（総合）・・・10月実施
大野市街地を散策し、城下町であること、碁盤目状につくられていること、各所に湧水地が点在していることを知り、大野市の歴史について学ぶ。
- ④ 円山の宝リゾット米（総合）・・・11月実施
円山地区の町おこしのために、自分たちが作るリゾット米を紹介する看板を作成してPR活動をしたり、リゾット米を美味しく食べるレシピを地域に紹介したりする。

異学年交流

- ① 4年生に向けて、総合の活動を報告する。（11月）
- ② 6年生が楽しく卒業できるように、6年生を送る会を企画実行する。（2月）

=6年生=

<活動計画>

地域とつながる活動

- ① 福井駅周辺に行き、福井の歴史や魅力を見に行こう(総合)・・・6月実施
歴史博物館に行くことで福井の歴史について知ったり、駅周辺を散策することで福井の魅力を実際に見たり、町の様子がどうなっていくか考えを深めたりする。
- ② 福井の地層を見に行こう(理科)・・・10月実施
東尋坊周辺を散策し、理科で学習した地層や断層を実際に見ることで、学習した内容の深化を図るとともに、福井の大地も長年の堆積でできていることを知る。
- ③ 修学旅行・・・11月実施
福井県の各地の観光名所等をめぐること、福井にも魅力的な場所や食べ物、体験等があることを知り、地域に愛着がもてるようにする。
- ④ 地域で活躍する人から、働くことの意義などについて学ぼう(総合)・・・1月実施
児童の保護者に依頼し話をしてもらうことで、様々な職業について知ったり、働くことの意義について学んだりするとともに、福井のために働いている人がいることを知り、地域に誇りをもてるようにする。

異学年交流

- ① 1年生との交流・・・(6月 複数回実施)
1年生と遊んだり、体カテストのやり方を教えたりする。
- ② なかよし遊び・・・(通年 全7回)
1～5年生みんなが楽しめる遊びを計画し、司会・進行をする。

=4, 5, 6, 7組=

<活動計画>

地域とつながる活動

- ① 大東中学校区小中交流会「クリスマス会をしよう」(自立、生活単元)・・・12月実施
大東中学校区の特別支援学級の児童とクリスマス会を通して交流する。出し物を計画したり準備したりすることを通して、児童同士のコミュニケーション基礎的能力を養いたい。
- ② 夏野菜を育てよう(生活単元)・・・7月実施
現在7種類の野菜を苗から育て、毎日水やりをしている。7月に育てた野菜を児童が家庭へ持ち帰り、何を育てたのかをお家の人に伝えることで、児童の野菜を育てる苦労や喜び、お家の人から頑張ったことを認めてもらえる喜びを感じて欲しい。

異学年交流

- ① 各学年の異学年交流に準備などから積極的に参加する予定である。
- ② 1～6年生の児童が在籍しているため、自立活動や生活単元でなく、国語を中心に教科の交流を行う。